

ふれあいサロン情報交換会で「より楽しい活動を考える」

日高学区市民自治会社会福祉委員会では、高齢者等が近所の集会所に気軽に集



「ロイヤルサロン小木津山」での活動の様子

える、ふれあいサロン事業を実施しています。通称、おげんきクラブ、日高学区の高齢者等205名が会員登録し楽しく活動し、交流を深めています。12月21日には、交流センターにて、令和6年度の事業計画書作成のために、西町、西本宿、東本宿、安良宿西、安良宿東、松ヶ丘、静原、小木津浜の代表者が参加し、ふれあいサロン情報交換会を行いました。会議では、各ふれ

あいサロンの活動の様子、会員数減少やボランティアスタッフの担い手不足、昨今の物価高による活動費増額の要望などが話題に上りました。

特に、高齢者は皆で一緒に体を動かし取り組むような活動が楽しめているようだ」との意見は、参加者全員が納得しました。

日高学区の各ふれあいサロンは、脳トレ、シルバリハビリ体操、介護や健康に関する講演会、バス研修旅行、運動会、クリスマス会などを実施し、各々が工夫を凝らした、特色ある活動をしていることが伝わってきました。

各サロンの代表者とボランティアスタッフは、会員の笑顔を思い浮かべながら、令和6年度の活動計画を立てていくそうです。

おもちゃライブラリーでクリスマス会を実施

日高学区市民自治会社会福祉委員会の子育て支援事



子どもの声も賑やかに

業おもちゃライブラリーでは、12月20日にクリスマス会を実施しました。ツリーが装飾された会場に、6組の親子が集い、サンタさんからクリスマスプレゼントをもらいました。おもちゃで遊んだり、お友達同士おもちゃを譲り合ったり、お母さん同士でお話をしたり、思い思いに楽しい時を過ごしていました。

福祉委員会からのお知らせ

日高交流センターのエレベーター取り付け工事に伴い、交流センターを会場に活動している福祉事業は、

1月3月まで会場変更などの措置が取られます。ご不便をおかけしますが、よろしく願います。ここにこのクラブ」
第2・第4水曜日、10時〜宿東集会所
「シルバリハビリ体操」
第2・第4火曜日、13時〜宿東集会所
「おもちゃライブラリー」
中止。子育てについての不安や相談など、日立市の担当課へつなぐ役割は引き続き担います。お気軽にお問い合わせください。
【問合せ先】日高交流センター内社会福祉委員会
☎43-11250

東日本大震災と福島原発事故に学ぶ自治会研修旅行

日高学区市民自治会主催の研修旅行を11月25日に32名の参加で実施しました。本行事はコロナ禍で4年ぶりの開催です。

今年研修先は、福島県双葉町の「東日本大震災・原子力災害伝承館」です。平穏な暮らしを一変させた地震と津波、原発事故、複合災害の始まりを克明に

美味しい味噌は手作り

去る12月23日の午後、日高交流センターで、自治会健康推進部主催の味噌作り教室が開催されました。講師は百年塾市民教授の蛭田三男さんです。センターのエレベーター工事の関係で例年よりも前倒ししての実施でした。39名の参加者は皆で協力して、味噌作りを楽しんでいました。



家族に美味しい味噌を

伝えていきました。錯綜する情報、事故発生直後の状況避難状況など、また、複合災害による県民の想いを発信していること、長期化する除染、風評の払拭など、まだまだ課題の多いことなどを実感しました。

陸前浜街道の常磐線踏切を小木津浜に数百メートルばかり進むと、右手にこんもりとした森が見えるのが澳津神社です。境内には木々に覆われ、朱色の鳥居をくぐると神聖な空気に包まれます。さらに参道を進むと急に視界が開け、目前に本殿と、祖霊社が姿を現す。

普段はひっそりとした佇まいの境内であるが、正月には、新年を祝う参拝客、そしてお盆には祖先の供養に祭標をもらいに來る地域住民で賑わい、地元の神道信仰の中心となつてい



原子力災害伝承館での研修を終えて

ふるさと郷土ひたか (25)



新年を祝う参拝者たち

「東連津川風土記」より
日高郵便局前の参道を百メートル程歩くと、樹齢300年以上と思われるご神木と共に、澳津神社が鎮座する。この神社は、天文十三年(1544年)村内の権現山に創立、万治元年に御立山と呼ばれた今の地に移った。元禄七年(一六九四)藩主水戸光圀の命により、一村の総鎮守となった。澳津神社の旧称が稲荷大明神であることから、現在も「正一位稲荷大明神」の号札がかげられ、拝殿には二匹の白狐が配されている。また、貴重な大絵馬や、三十六歌仙と思われる古い絵画がある。九六七坪の境内には九つの境内社があり、明治九年三月新建の祖霊社もある。祭神は事代主命、宇賀御魂命。例祭は陽曆五月八日である。
(注) 現在は五月五日